

## 留学生のための「ゆかた着付け教室」を開催しました

鳥取大学と鳥取県留学生交流推進会議のメンバーである鳥取中央ロータリークラブの主催で、留学生のための浴衣着付け教室を7月6日(水)、鳥取市湖山西地区公民館において開催しました。このイベントは毎年七夕の時期に本学の留学生を対象に開催しており、今回は、中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、モンゴル、スーダン、ナイジェリア、カナダの、9か国23名の留学生が参加しました。

留学生達は浴衣についての説明を受けたあと、ロータリークラブの方々に、着付けの指導を受けました。引き続いての七夕体験では、色鮮やかな浴衣姿で、願い事を書いた短冊を笹竹に結び付け、飾り付けた笹竹をバックに、鳥取市の伝統的な盆踊りと日本の代表的な「炭坑節」の指導を受け、輪になって踊りました。

多くの留学生にとって初めての浴衣や、盆踊り、七夕など、日本文化に触れる良い機会となりました。



### ゆかた着付け教室に参加して

鳥取大学地域学部 鍾晴（台湾）

私は、台湾の銘伝大学のサークルで浴衣の着付けを学びました。そのため、自分で浴衣を着付けることができます。しかし、今回浴衣教室に参加して、大変勉強になりました。帯の結び方はたくさんありますが、今回教えていただいたのは、初めての方でも簡単にできる結び方でした。浴衣教室の中で一番驚いたのは、蝶々が本当に飛んでいるかのように可愛かったことです。また、お盆の時に踊られる伝統的な踊りも教えていただきました。とても楽しく、踊っていて幸せでした。台湾の大学に戻ったら、必ず後輩たちにここで学んだ全てのことを伝えたいと思います。このような体験をさせていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。